

レーザー治療の効果

傷の治りが早い

体への負担が少ない

ハイパワーでより効果的な治療

国内初
3波長
LASER



筋肉や関節への照射により

組織の奥まで到達したレーザーの光子は、
細胞に吸収され、光化学反応を起こします。

血行を改善し、痛みの緩和や炎症の抑制、
組織の修復など様々な効果をもたらします。

レーザー治療は痛みを伴わず

麻酔の必要もないため動物へのストレスが少なく、

温感によるリラックス効果も期待できる、

安全で低侵襲な治療です。



急性疾患
炎症疾患
皮膚疾患

様々な症状に効果的

The Drug Free & Surgery Free Solution

安全でカラダへの負担が小さい治療



波長による異なる主な効果

650
nm

表面治療を
加速

メラニンへの吸収が大きく表面組織に作用
表面組織の細胞再生、治癒促進、瘢痕組織の修復

表層での抗炎症作用、線維芽細胞の増殖促進やコラーゲン
産生促進による組織修復作用

810
nm

鎮痛
抗炎症

細胞内のミトコンドリアに作用
[シトクロムCオキシダーゼ]

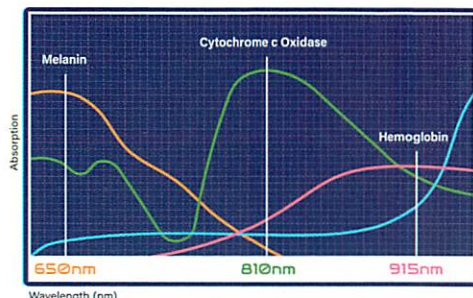
- ATP産生の活発化による細胞の代謝能の向上
- 痛覚刺激の伝導抑制での鎮痛効果
- 絨毛増殖の軽減、炎症性細胞浸潤の減少による抗炎症作用
- コラーゲン産生の促進による組織修復作用

915
nm

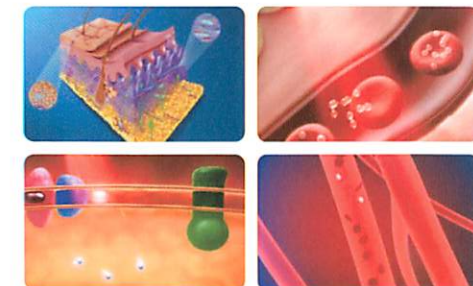
酸素量の
増強

血中の酸化ヘモグロビンに作用

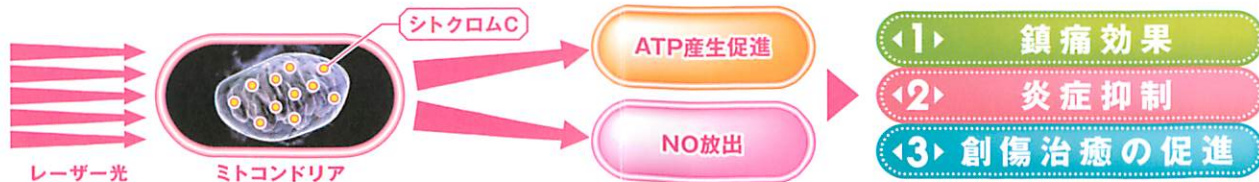
酸化ヘモグロビンのもつ酸素が分離することで、
レーザー照射部の細胞の周囲の酸素量を増強します。



Wavelength (nm) — Melanin — Cytochrome c Oxidase — Hemoglobin — Water



細胞レベルにおけるレーザー光反応のメカニズム



※くわしくは、担当獣医師までご相談ください。